



うらやす

宇部市立上宇部小学校
学校だより 6月号
令和4年5月24日発行

ピンチはチャンス！

校長 三輪 孝行



令和4年度がスタートし、2ヶ月が経ちました。

子どもたちが、大きな事件や事故に巻き込まれることなく過ごすことができ大変嬉しく思っています。これも保護者や地域の皆様の御協力のおかげだと感謝しております。中でも、「見守り隊」の方々の献身的な御協力には頭が下がります。改めて、お礼を申し上げます。

さて、『災い転じて福となす』ということわざがありますが、人は失敗を今後に活かす知恵を身につけています。

いわば、ピンチをチャンスに切り替える知恵です。最近気づいた、チャンスに向かうことのできそうなピンチを紹介します。

【運動場のピンチ】 1つ目のピンチは、運動場で時々目にするゴミの散乱です。

生徒指導主任の丸山先生が、お菓子の袋や空き缶などを拾っては、全校朝会や給食放送で子どもたちに厳しく指導をしています。指導を繰り返すうちに、そのゴミの量は減ってはくるのですが、全くなくなることはありません。

子どものマナー意識の向上にしながらチャンスにしたいピンチです。

【生活習慣のピンチ】 2つ目のピンチは、子どもたちの生活習慣に係ることです。朝の時間や中間時間、昼休みの時間など保健室を訪問してみると、頭痛や腹痛で入室している子やぐったりとしている子などを見かけます。

ぐったりしている子に「どうしたの？」と声をかけてみると、・・・

「昨晚、夜更かしをした」「ゲームをし過ぎた」「朝ごはんを食べなかった」など生活習慣に係る話をよく耳にします。睡眠をしっかりとっていれば・・・、朝食を摂っていれば・・・、ゲームをする時間をもっと短くしていれば・・・、ぐったりすることなかったのではないかと思います。

子どもの生活習慣の改善につながるチャンスにしたいピンチです。

低学年から中学年、高学年、そして、中学生へと子どもが成長するにつれて、保護者の方からだんだん手は離れていきます。しかし、手は離れても、子どもさんから目を離すことのないようにしてください。

こうした「マナー」や「生活習慣」は、保護者や地域の方の協力があってこそ、その向上や定着が図れるものです。よろしくお願いします。